

施策評価シート(平成28年度評価実施)	担当部課名	産業環境部 環境清掃課	関連部課名	産業振興部観光商工課 教育委員会生涯学習課
基本目標	美しい自然を未来につなぐまちづくり【環境・生活基盤】			
施策名	環境保全			
騒音や公害、水質汚濁のない快適な生活環境にむけて、公害の監視体制の整備や公害防止対策、水質浄化対策、子どもたちを対象にした環境教育、市民や事業者に対する情報提供や学習機会の充実などを図り、環境意識の高揚や環境にやさしい生活・活動を促進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●騒音や公害のない、快適な環境で暮らしています。</li> <li>●すべての人が美しい海や自然環境の保全に理解を深め、自ら行動しています。</li> </ul>				

#### ◆具体化した施策の取り組み実績

##### 1 公害の監視体制の整備と公害防止対策の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
公害苦情件数	293件	247件	-
公害防除資金融資	実績なし	実績なし	-

##### 2 不法投棄防止対策の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
パトロールの強化	不法投棄早期回収パトロール実施	不法投棄早期回収パトロール実施	不法投棄早期回収パトロール実施
不法投棄件数	204件	175件	-

##### 3 水質浄化対策の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
三河湾浄化店頭啓発事業	水竹町フィールド・竹谷町イオンで実施	水竹町フィールド・竹谷町イオンで実施	水竹町フィールド・竹谷町イオンで実施
環境講演会事業	蒲郡市立三谷小学校 263人	蒲郡市立中央小学校 648人	蒲郡市立形原北小学校 576人(実施済)

##### 4 環境美化活動の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
530運動実践活動への支援	195団体 12,460人	198団体11,713人	-
春・秋のクリーンキャンペーン (年2回、統一実践)	52団体 1,337人	69団体 1,370人	-

##### 5 環境教育の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
里山自然観察会	相楽の森 35名	相楽の森 37名	10月24日実施予定
三河湾環境チャレンジ(干潟観察)	13回 693人	12回 625人	13回計画
科学館講座(干潟観察)	9回 417人	3回 142人	3回計画

◆評価指標

指標名	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	将来目標
公害苦情件数	目標値	-	-	-	-
	実績値	293件	247件		平成32年度
公害苦情件数の中の不法投棄件数	目標値	-	-	-	-
	実績値	204件	175件		平成32年度
公害苦情件数の中の野焼きの件数	目標値	-	-	-	-
	実績値	13件	20件		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
公害苦情件数	典型7公害(大気・水質・騒音・振動・悪臭・廃棄物・その他)の苦情件数
公害苦情件数の中の不法投棄件数	公害苦情のうち廃棄物(不法投棄)の苦情件数
公害苦情件数の中の野焼きの件数	公害苦情のうち大気(野焼き)の苦情件数

◆指標の分析

<p>◆都市化・市民生活の多様化に伴い、日常生活に深く関わる新たな生活型の環境問題が顕在化している。中でも隣地で発生する騒音、悪臭に端を発する苦情が増えており、地域コミュニティの希薄化が進んでいると考えられる。さらに生活に起因する苦情については、法規制が及ばないものが多いことに加え、原因者の経済的理由により改善が進まない事例が散見される。</p> <p>◆公害苦情件数は平成27年度は減少に転じたが、平成28年度は6月末現在では平成26年度より多い形で公害苦情を受け付けており、増減に波がある状態である。また、不法投棄については山中での大規模な建築廃材の不法投棄が見られるなど、悪質かつ回収が困難な事例が発生し、対応に苦慮している。</p> <p>◆野焼きに関する苦情は今まで横ばいだったが平成27年度は増加に転じた。要因としては同じ人が近隣での野焼きを全て通報しているものが目立ち、その分が増加件数に結びついている。</p>
--

◆今後の方針

施策の課題	<p>◆隣地で発生する騒音、悪臭に起因する苦情が増えている。人間関係上のトラブルに発展しないよう、個人情報意識した配慮が必要である。中には改善が見られず長期化している事例もあるが、生活型の苦情は法規制が及ばないものも多いことから、愛知県公害紛争処理制度や民法上の手続きの案内も薦めているが、住民個人が制度を活用することに抵抗があり、先に進まないのが現状である。そこを一步進めることが課題となっている。</p> <p>◆家電4品目に代表されるリサイクル料金が発生するものの不法投棄は横ばい状態になってきており、27年度末から試験的に監視カメラを設置した資源ステーションでは不法投棄が減少してきている。一方で山中の不法投棄については、産業廃棄物と思われる建築廃材などの投棄が目立ち、警察の積極的支援も要請するも範囲が広大なことからイタチゴッコの状況となっている。山中全てに目を行き届かせるのは困難であり、そこをどのように克服していくかが課題となっている。</p> <p>◆今後も野焼きによる公害苦情が減少していくよう引き続き周知や指導に努めるとともに悪質なものは警察と連携した指導を継続していく。指導した方の中で高齢の方に多いが、注意されたことに対して意固地になり開き直ってしまうケースも散見され、納得のいく指導方法の模索も課題となっている。</p>
-------	---

今後の施策展開	<p>◆騒音・悪臭などの問題で長期化しているケースについては、測定をしっかりと行っていき、状況の可視化を図る。原因者には指導だけでなく、改善計画書の提出も求めていき具体的な対策の裏づけも求めていく。</p> <p>◆美しいまちづくりを目指し、事業に継続性を持たせ、また環境教育の一環として実施していくためには、参加団体の拡大を行っていきたい。自分たちのまちは自分たちの手できれいにするという意識を持ってもらうよう、また、ごみの減量化と合わせて日常の取組みとして定着するよう啓発を継続していきたい。さらに、平成27年度末から設置を始めた監視カメラを効果的に巡回設置し、不法投棄やステーションへの違反ゴミの削減を図りたい。</p> <p>◆環境講演会については市内小学校13校のうち9校が終了し、残り3校でも実施したいと考えている。現在、公益財団法人日本環境教育機構の助成金の申し込み手続きを進めており、財源に充てる計画である。</p>
---------	--

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	環境問題も多様化し、法令規制のない苦情も多く対応に苦慮しているが、地域住民に密着した問題でもあり、その適切な処理に努めていく必要がある。 また、不法投棄については、規模が大きく悪質な事例も発生しており、関係機関との連携及び土地所有者の管理責任も明確にしつつ、対応していくことが求められている。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	環境問題は、悪臭や煙害などの公害や不法投棄問題も含め、企業や市民の環境保全に対する意識、周辺への配慮などの意識の持ち方が大きく影響している。監視活動により予防策を図るとともに啓発活動にも更に力を入れていく必要がある。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (参考) (千円)	人工	総合 評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
4-3	環境清掃課	301	公害苦情処理事業	6,602	8,577	1.65	B	カ	—	×
4-3	環境清掃課	302	環境啓発事業(地球環境対策、こどもエコクラブ、出前講座)	172	3,751	0.65	B	カ	—	×
4-3	環境清掃課	303	環境調査事業(河川水質、環境騒音、道路交通騒音、悪臭等)	474	3,925	0.80	A	カ	—	×
4-3	環境清掃課	304	三河湾浄化推進事業	5,234	3,005	0.55	B	カ	—	×
4-3	環境清掃課	307	環境美化事業	6,012	10,928	2.45	B	カ	—	×